

1. 基礎情報

自治体名	新潟県長岡市
担当部署名	長岡市国際交流センター
電話番号	0258-39-2714
ホームページ	https://www.city.nagaoka.niigata.jp/kurashi/cate13/chikyuhiroba



留学生が活躍する「世界が先生-国際人育成事業-」

在留外国人数		令和4年10月現在		2,431		人	住民基本台帳人口 に占める割合		0.9		%
うち、国籍別上位3ヶ国の 人数及び国籍名			1位 (中国)	702	人	2位 (ベトナム)	509	人	3位 (フィリピン)	298	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	日本語教育の推進	
取組のポイント	外国人市民のための日本語学習	
具体的な取組内容	外国人の日本語能力を高め、地域住民と日常のコミュニケーションを問題なく行えるようになることを目指して、日本語学習支援を行っている。災害時に重要な「顔の見える関係」を普段から築く機会としても機能している。 【内容】 日本語学習にあたって、以下の2つの施策を実施しており、様々な言語レベルの方が柔軟に参加できる環境を提供している。 ①日本語講座 一般的な日本語教室の形で、教室形式で日本語教師がテキストを使って初級レベルの日本語を教える。ひらがなとカタカナの読み書きができるレベル以上の方が対象。 ②にほんご広場 外国人市民とボランティアが、日本語学習を通して「顔の見える交流」を行う場。ボランティアと学習者が、国籍や文化を越えた学び合いの場として、自主的に運営している。毎回学習内容は決まっておらず、オンデマンド形式で学習者の要望に合わせて日本語の勉強を行う。 【成果】 学習者からは、単なる日本語学習ではなく、日常生活で使う表現や日本の文化を知ることができ、また知りたいことをその場で教えてもらえるということで評価が高い。ボランティア側からも、ただ日本語を教えるだけでなく、外国人と交流できるという点で評判が良い。	
大分類	地域活性化の推進やグローバル化への対応	
小分類	外国人住民との連携・協働による地域活性化の推進・グローバル化への対応	
取組のポイント	留学生を活用した国際人材育成	
具体的な取組内容	市内・県内の大学等に通う留学生を活用し、地域の子どもの国際感覚を養うための取組を行っている。 【内容】 ・留学生を市内の小中学校等に派遣し、母国の文化や伝統的な遊び等を紹介してもらう。 ・留学生の派遣にあたって、留学生のプロフィール情報（特技や何を教えられるか、等）をまとめた紹介資料を作成している。 【成果】 ・これまでに延べ500人以上の留学生が学校や地域で講師となり活躍。参加者も1万人以上となっている。 ・事業開始当初は国際交流センターが主体的に動き、市内の小中学校を訪問して周知を行っていたが、継続していく中で、口コミ等で評判が広がっていき、学校側から定期的に留学生講師の依頼が来るようになってきた。 ・留学生と派遣先でコミュニケーションができた後、センターを介さずに当事者同士で交流を続けているところもある。 ・留学生側にとっても、自らのアイデンティティの確立にもつながるため、満足度が高い。また、この事業を通して地域の魅力に気づき、地域への関心を高める効果もある。 ・留学生の個性が光る多彩な講座で世界各国の文化に触れることにより、子どもたちの国際理解の推進に寄与している。	